

訪問診療勉強会

地域包括ケア病棟では、今回訪問診療について勉強会を開催しました♪

当院の外来訪問診療チームより講義を行って頂きました👏 訪問診療はどんなことをするのか？訪問診療と往診の違いは？など、分かりやすく講義をしていただき、退院された患者さんが自宅でどんな生活を送っているのかを知る良い機会となりました。

退院支援は外来から始まるので、地域包括ケア病棟の役割の1つである退院支援がより充実するよう、今後も外来と密に連携をとりながら、訪問診療が必要となる患者さんを早期に判断し、よりよい形で在宅に繋いでいけるよう、支援をしていきたいと思えます。

ここでワンポイント



～訪問診療と往診の違い～

どちらも医師に病状を診てもらおうということには変わりはありません。

本来、病院で受けられた医療サービスを、高齢者の方々が、住まわれている所でも提供されているのが「在宅医療」と言われるもので、その中で「訪問診療」と「往診」に分けられます。

簡単に言うと、「訪問診療」とは、計画的な医療サービス（＝診療）を行うことです。定期的に、且つ計画的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談・指導などを行います。

これに対し、「往診」とは、通院できない患者さんの要請を受けて、医師がその都度、診療を行うことです。



外来訪問診療チームの講義を真剣に受けています(^)♪
退院後は、様々な専門職のサポートを受けながら生活を送っていることが分かりました♪

私たちの病院では、内科と整形外科の訪問診療をしているのか～・・・
先生と看護師が家に来てくれることで、患者さんも家族の方も安心だろうな(^)

